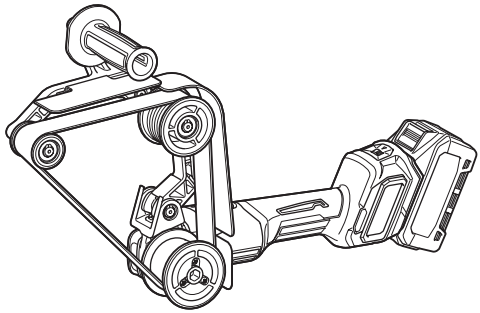
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

充電式パイプベルトサンダ

モデル BS002G



このたびは**充電式パイプベルトサンダ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

もくじ

はじめに

主要機能 …… 2
安全上のご注意 …… 3
各部名称 …… 14
標準付属品の確認 …… 15
別販売品のご紹介 …… 16

ご使用前の準備

バッテリの充電 …… 18
バッテリ／充電器の取り扱い …… 19
使用前に知っておいていただきたいこと …… 20
各種機能 …… 21

使い方

グリップの取り付け／取りはずし方法 …… 22
サンディングベルトの取り付け／取りはずし方法 …… 23
バッテリの取り付け／取りはずし方法 …… 25
本製品の操作 …… 26
・スイッチの操作 …… 26
・スピード調整ダイヤルの操作 …… 27
・研削方法 …… 28
・仕上げ作業 …… 28
使用後の取り扱い …… 29

保守／点検

故障かな？と思ったら …… 30

はじめに

主要機能

主要機能＼モデル	BS002G
電動機	DC ブラシレスモータ
使用可能バッテリ	リチウムイオンバッテリ
	別販売品のご紹介を参照ください。
電圧	直流 36 V（40 V max）※ 1
研削可能最大パイプ径	φ 125 mm
ベルト寸法	幅 40 mm ×長さ 760 mm
ベルト速度	3.1 ～ 13.5 m/s（190 ～ 810 m/min）※ 2
防じん・防水保護等級	IPX6
振動 3 軸合成値	＜ 2.5 m/s^2

※ 1：40 V max は満充電時のバッテリ電圧を表しています。
※ 2：無負荷時

- 振動 3 軸合成値は EN62841-2-4 規格に基づき測定。
- 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA［(社）日本電機工業会］ウェブサイト：(http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html) をご参照ください。
- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

製品の質量および寸法

装着バッテリ	質量※	本製品寸法※ 長さ×幅×高さ
BL4020	3.9 kg	580 mm × 197 mm × 356 mm
BL4025		
BL4040	4.2 kg	592 mm × 198 mm × 359 mm
BL4040F		
BL4050F	4.5 kg	618 mm × 197 mm × 360 mm

※：グリップ装着時

1 回の充電での作業量（参考値）

- バッテリの状態、周囲温度、被削材により異なります。
- 全速またはスピード調整ダイヤルを 5 に設定した場合の作業量です。

使用バッテリ	被削材	作業量
BL4040	炭素鋼管φ 76 mm（外径）	約 73.3 g

JPA002-65

安全上のご注意

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「充電工具」は、充電式（バッテリパック式）の電動工具を示します。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
   - 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
   - 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
   - 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
   - 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
   - アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
   - 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
   - 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
   - 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリが短絡（ショート）する恐れがあります。
   - バッテリ内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
   - 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
   - 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
   - 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
- 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
- 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

2. 安全保護具を使用してください。
- 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。

3. 不意な始動は避けてください。
- バッテリを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- スイッチに指をかけて運ばないでください。

4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
- 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 本製品を無理に押しつけず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

6. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
- 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

⚠警告

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
- 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリを本製品から抜いてください。
- 本製品の調整
- 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
- 保管、または修理
- 充電工具から離れるとき
- 本製品の受け渡し
- その他危険が予想される作業

4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
- 充電工具や充電器からバッテリを抜いて保管してください。
- 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- バッテリはバッテリカバーをつけて保管してください（バッテリカバー付きの場合）。

5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
- 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。

6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
- 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。

7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
- 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。

8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
- 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。

9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⚠警告

バッテリに関する安全事項

1. バッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
・ スイッチがオンの位置にあるときにバッテリを差し込むと事故につながります。
2. バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
・ ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
・ 工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリの端子部を金属などで接触させないでください。
・ バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
・ 本製品または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください（バッテリカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
・ 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
・ バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
・ バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
・ バッテリ内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
・ 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠警告

14.使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。

- 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

15.バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。

- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

16.使用中、使用後にバッテリが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。

17.バッテリに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。

- 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- 本製品、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  - 本製品やバッテリが異常に熱い。
  - 本製品やバッテリに深いキズや変形がある。
  - 焦げくさい臭いがする。
  - ビリビリと電気を感じる。
- スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
- 爆発や火災の恐れがあります。

5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

6. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

9. 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
- 誤動作や故障する恐れがあります。

⚠警告

12.充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

JPB386-1

充電式パイプベルトサンダ安全上のご注意

先に充電工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式パイプベルトサンダとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用中は、本製品を確実に保持してください。
・ 確実に保持していないと、本製品が振れ、けがの原因になります。
2. 本製品を万力などで保持した使い方はしないでください。
・ 思わぬけがの原因になります。
3. 材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
・ 不安定な状態での作業は、けがの原因になります。
4. 材料を手に持っての研削はしないでください。
・ けがの原因になります。
5. 鉄を研削する場合、研削粉は火花となって飛散しますので、引火しやすいものや、傷つきやすいものは危険のないところへ遠ざけてください。また、研削火花を直接手足などに当てないようにしてください。
・ 火災ややけどの原因になります。
6. アルミやマグネシウムなどを研削しないでください。
・ 発火や爆発の原因になります。
7. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 水、研削液などは使用しないでください。
・ 本製品故障の原因になります。
9. 塗料や被削材の中には有害な物質を含むものもあります。材料メーカーの安全指示に従って作業をしてください。

⚠ 注意

1. サンディングベルトや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
・ 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。
2. 使用中は、サンディングベルトが稼働する範囲に手や顔など身体を近づけないでください。
・ サンディングベルトに触れ、けがの原因になります。
3. 作業直後のサンディングベルト、材料、切粉は大変熱くなっていますので、触れないでください。
・ 手などが触れると、やけどの原因になります。
4. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
・ 材料や本製品などを落としたときなど、事故の原因になります。
5. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
・ 回転部に巻き込まれけがの原因になります。
6. 本製品が破損した状態で使用しないでください。
・ 破損した状態で使用すると、回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
7. サンディングベルトが回転しているときは、台や床などに本製品を放置しないでください。
・ 本製品が自走して、けがの原因になります。

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。
保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP X 6

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ/min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ/min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

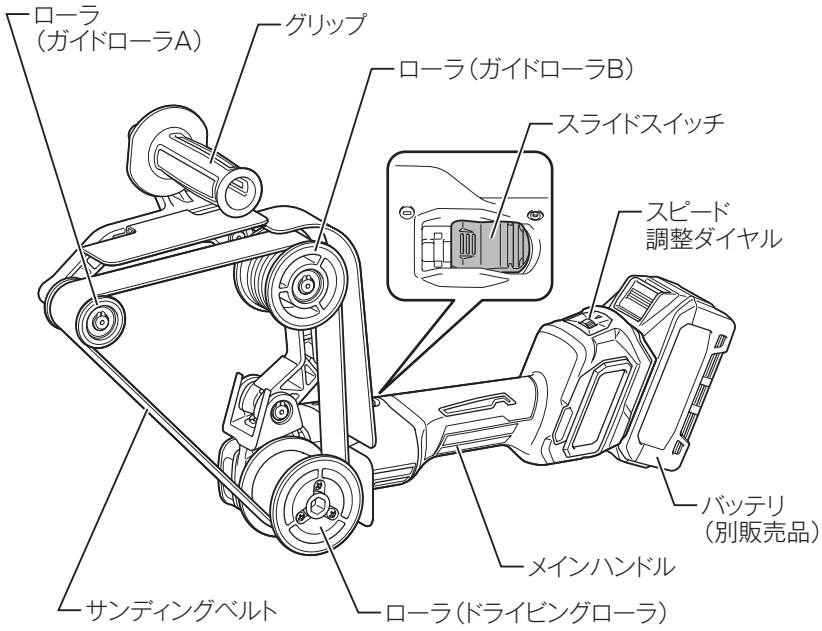
外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μm）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μm）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。
X	規定しない

注

- **IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。**
  過度な粉じんのあるところ、水中や雨の中での使用、放置はしないでください。
- **工具本体にバッテリを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。**

各部名称


ローラ
（ガイドローラA）
グリップ
ローラ（ガイドローラB）
スライドスイッチ
スピード
調整ダイヤル
バッテリ
（別販売品）
メインハンドル
サンディングベルト
ローラ（ドライビングローラ）

標準付属品の確認

モデル 標準付属品	BS002GZ
バッテリ	×
充電器	×
サンディングベルト（粒度 80）	○
サンディングベルト（粒度 120）	○
グリップ	○

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

・ サンディングベルト（粒度 80）セット品（5 枚入）
部品番号：A-79310

・ サンディングベルト（粒度 120）セット品（5 枚入）
部品番号：A-79326

・ ウールベルトセット品（1 枚入）
部品番号：A-79332

バッテリおよび充電器

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリ（容量）	◎ BL4020（2.0 Ah）	A-75823
	◎ BL4025（2.5 Ah）	A-69923
	◎ BL4040（4.0 Ah）	A-69939
	◎ BL4040F（4.0 Ah）	A-73841
	◎ BL4050F（5.0 Ah）	A-72372
	BL4080F（8.0 Ah）	A-73368
	BL4080H（8.0 Ah）	A-77263
対応充電器	DC40RA（急速充電器）	JPADC40RA
	DC40RB（2 口急速充電器）	JPADC40RB
	DC40WA（2 口充電器）	JPADC40WA
	DC40WB（充電器）	JPADC40WB

◎：使用推奨バッテリ

・ 充電器用互換アダプタ（ADP10）
部品番号：A-69967
充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V/18 V バッテリの充電が可能になるアダプタです。

・ ポータブル電源ユニット（PDC01）※ 1、※ 2
部品番号：A-69098
※ 1：PDC01 使用時は IPX4 に適合
※ 2：別途 18 V バッテリが必要です。

・ ポータブル電源ユニット（PDC1200）
部品番号：A-71825

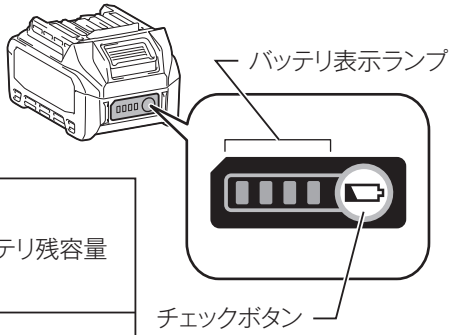
・ アダプタセット品　40 Vmax × 1
部品番号：A-72241
※：ポータブル電源ユニット PDC01、PDC1200 使用時に必要となるアダプタです。

バッテリの充電

・ バッテリは別販売品です。

バッテリ残容量表示

・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリ表示ランプ :点灯　:点滅　:消灯	バッテリ残容量
	75 % - 100 %
	50 % - 75 %
	25 % - 50 %
	0 % - 25 %
	充電してください。
	バッテリの異常です。

注

・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
・ バッテリ保護機能が働いた際は、左端のバッテリ表示ランプが点滅します。

バッテリの充電方法

・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリ／充電器の取り扱い

・ バッテリ、充電器は別販売品です。

バッテリについて

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やほこりから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリを抜いて保管してください。

バッテリを長持ちさせるには

・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度 10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 長期間（6 ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管方法

・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

本製品およびバッテリの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能
・ 本製品およびバッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。 　・ 使用を中断して本製品からバッテリを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電冷却をしてください。 　・ バッテリを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
・ バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。 　・ 本製品からバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。
・ 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。 　・ いったんスイッチを放し、本製品からバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな？と思ったら」（30 ページ参照）に従って点検してください。

各種機能

再起動防止機能

・ 本製品には再起動防止機能を備えています。
スイッチを入れた状態でバッテリを差し込んでも起動しません。
その際は、スイッチを切ってから、再度スイッチを入れると起動します。

定回転制御

・ 作業中負荷がかかっても工具の回転数が下がりにくく、回転数を維持するので高い作業性が得られます。

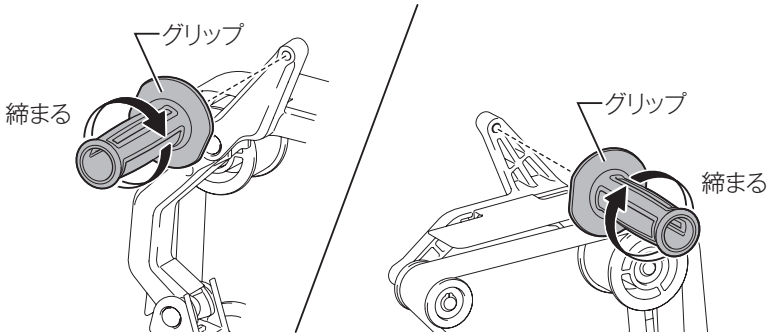
グリップの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

グリップの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りバッテリを抜いてください。
・ バッテリを差したまま行うと、事故の原因になります。
作業をするときは、必ずグリップを取り付けてください。
・ 確実に保持できずに本製品が振れて、けがの原因になります。

グリップは左右両方から取り付けが可能です。
作業にあった位置にしっかりと取り付けてご使用ください。

・ グリップを取り付けるには、矢印の向きにグリップを回してください。



・ グリップを取りはずすには、矢印と反対の向きにグリップを回してください。

サンディングベルトの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

サンディングベルトの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りバッテリを抜いてください。
・ バッテリを差したまま行うと事故の原因になります。

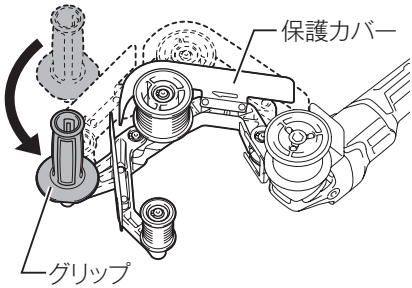
⚠ 注意

サンディングベルトの取り付け、取りはずしの際は、サンディングベルトなどで指をはさまないように注意してください。
・ けがの原因になります。

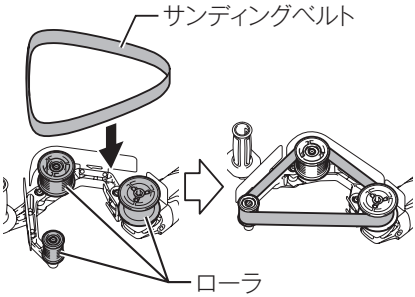
サンディングベルトの取り付け、取りはずしの際は、保護カバーに触れないように注意してください。
・ けがの原因になります。

取り付け方

1. グリップが上向きになるように、本製品を置きます。
2. グリップをいっぱいまで矢印の方向に押し込みます。

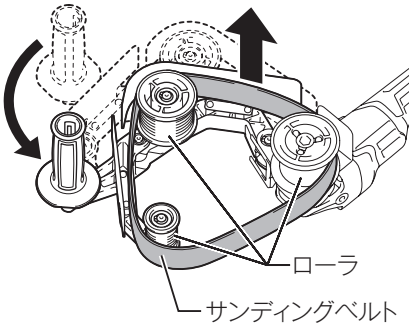


3. すべてのローラにサンディングベルトを掛けます。
4. グリップを元の位置に戻します。



取りはずし方

1. グリップが上向きになるように、本製品を置きます。
2. 取り付け時と同じ要領で、グリップをいっぱいまで押し込みます。
3. サンディングベルトがゆるんだら、ローラからサンディングベルトを取りはずします。



バッテリの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

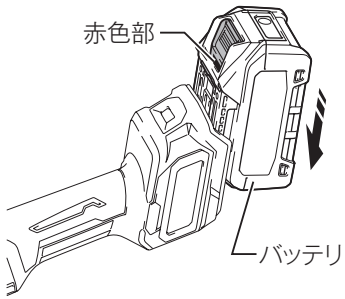
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

取り付け方

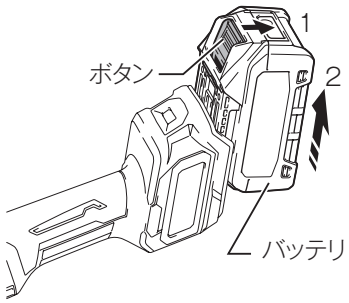
・ バッテリを本製品の溝に合わせ、赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



※イラストはBL4040の取り付け例です。

取りはずし方

・ バッテリのボタンを
1. 矢印方向に押しながら
2. 引き出します。



本製品の操作

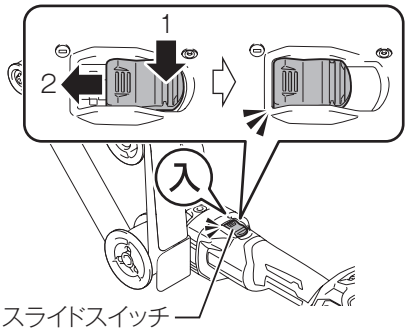
スイッチの操作

⚠ 警告

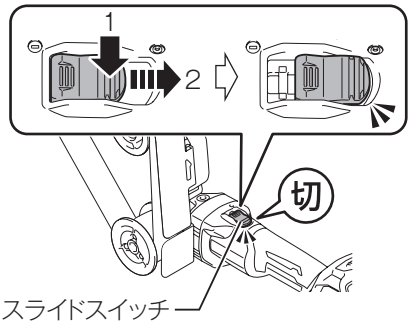
本製品にバッテリを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。
・ スイッチを入れたままバッテリを差し込むと事故の原因になります。
スライドスイッチに異物が詰まらないようにしてください。
・ 異物が詰まると、スイッチが切れなくなったり、本機が勝手に動きだしたりして、けがの原因になります。

■ スイッチを入れる／切る

・ スイッチを入れるには、スライドスイッチを
1. 矢印方向に押しながら
2. スライドさせます。
スライドスイッチの前部を押すと、固定され連続運転します。



・ スイッチを切るには、スライドスイッチを
1. 矢印方向に押しながら
2. スライドさせます。

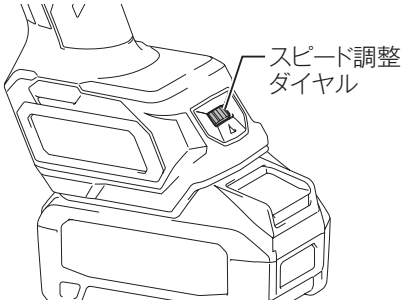


注

・ **スイッチの入／切は本製品を加工面から離して行ってください。**
加工面に本製品を置いたままスイッチの入／切をすると、加工面を傷つけたり、サンディングベルトを破損させたりすることがあります。

スピード調整ダイヤルの操作

・ サンディングベルトの速度を変えるときは、スピード調整ダイヤルを回します。
用途に応じて速度を調整してください。
・ ダイヤルの表示は 1 から 5 まであります。数字が大きくなるに従ってサンディングベルトの速度が速くなります。



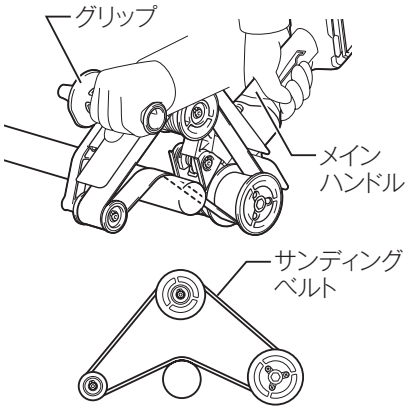
スピード調整ダイヤル	速度
1	3.1 m/s（190 m/min）
2	3.8 m/s（230 m/min）
3	5.8 m/s（350 m/min）
4	7.9 m/s（470 m/min）
5	13.5 m/s（810 m/min）

注

・ スピード調整ダイヤルは 1 → 5、5 → 1 へと回すことができません。無理に回しますと故障の原因となります。必ず、1 → 2 → 3 → 4 → 5、5 → 4 → 3 → 2 → 1 の範囲で回してください。

研削方法

1. メインハンドルおよびグリップを持ちます。
2. スイッチを入れます（26 ページ参照）。
3. 加工面にサンディングベルトが均一に軽く当たるように本製品を保持します。
4. 本製品を左右に動かして研削します。



注

- 本製品は加工面に対し、軽く当てる程度でご使用ください。強く押しつけますと能率が悪くなり、サンディングベルトの寿命も短くなります。
- スイッチの入／切は本製品を加工面から離して行ってください。
  加工面に本製品を置いたままスイッチの入／切をしますと、加工面を傷つけたり、サンディングベルトを破損させたりすることがあります。
- 本製品を傾けた状態で加工面に当てると、サンディングベルトがローラからはずれる恐れがあります。
- 径の太いパイプを加工する際は、ローラが被削材に触れないように注意して作業してください。触れると被削材やローラに傷が付く恐れがあります。
- ウールベルトで仕上げ作業を行う際は、ウールベルトにコンパウンドを塗布してから作業することで、仕上げ効果が向上します。

仕上げ作業

仕上げ作業はウールベルト（別販売品）で行ってください。

1. ウールベルトまたは被削材にコンパウンドを塗布します。
2. コンパウンドが均一に被覆されるまで、本製品を低速で回転させます。

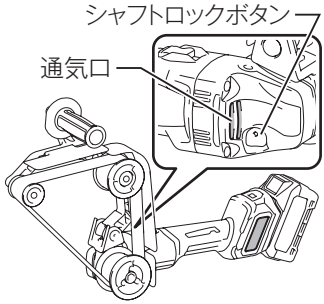
使用後の取り扱い

⚠ 警告

お手入れの際は、必ずスイッチを切り、本製品からバッテリを抜いてください。
・ バッテリを本製品に差し込んだまま行うと、事故の原因になります。

通気口の清掃

・ 通気口が詰まらないように、定期的に清掃してください。

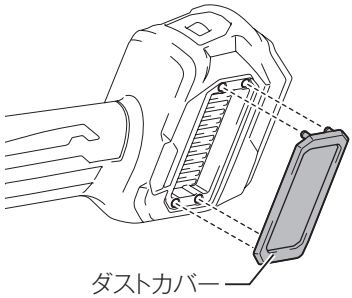


注

・ シャフトロックボタンは、修理をする際に使用します。作業中に使用することはありません。

ダストカバーの清掃

・ 使用後はダストカバーをはずし、金網に付着したゴミやほこりを取り除いてください。



本製品のお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

・ **水洗いは絶対にしないでください。**
  ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
・ **ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。**

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 20 ページ参照。

ご修理の際は

- 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

881L51-2
CRE